

関中学校だより

第6号 令和7年10月15日 ホーームヘーシアトレス http://www.seki-j.nerima-tky.ed.jp/

合唱コンクールを終えて

校長 堤 智一

10月10日(金)に、練馬文化センターにおいて合唱コンクールが実施されました。余談ですが練馬文化センターは、1975年開校の関中学校よりやや若い、東京ディズニーランドと同じ 1983 年に開館しました。練馬区の文化の中心といってよい練馬文化センターで行われた今年度の合唱コンクールは、各学級がそれぞれの持ち味を生かした、素晴らしいものでした。お忙しいところ参観いただいた保護者の皆様におかれましては、ご来場誠にありがとうございました。

さて、本校では合唱コンクールを平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにする文化的行事として位置づけ実施しています。そのねらいは、生徒が学校生活を楽しく豊かなものにするため、互いに努力を認めながら協力して、美しいもの、よりよいものをつくり出し、互いに発表し合うことにより、自他の良さを見付け合う喜びを感得するとともに、自己の成長を振り返り、自己のよさを伸ばそうとする意欲をもち、美しいものや優れたものに触れることによって豊かな情操を育てることです。

具体的には、本番までの活動において、他の生徒と協力したり、目標を設定したり課題を見いだしたりします。次に課題の解決を目指し、考え、話し合いながら自主的、実践的に協力して取り組みます。本番当日は、自分たちが協力してより良いものにしてきた成果を発表するとともに、他の学級の美しいものやよりよいものに触れます。そして自己の成長を振り返り、自己のよさを伸ばそうとする意欲をもつことができます。これらの活動すべてが合唱コンクールです。

当日練馬文化センターにお越しいただいた保護者の皆様には、これまでの成果の発表を観ていただきましたが、本校の合唱コンクールはこのようなねらいで実施しています。よりよいものを目指すうえで、金賞といった具体的な成果を求めること自体は、ごく自然なことですし、団結する力となります。金賞に輝いた学級はその努力と協力は称賛に値します。その一方で今回惜しくも望んでいた結果とならなかった学級であっても、本校の合唱コンクールのねらいが達成できたかどうかについては、一人一人が必ず振り返ってほしいところであります。3年生にとっては中学校生活最後の合唱コンクールが終わりました。1・2年生は今年とは違うメンバーで、来年の合唱コンクールを迎えます。合唱コンクールが終わってからもこの仲間とともに学校生活は続きます。

関中学校では、毎回の教科の授業を核として、総合的な学習の時間や特別の教科 道徳、など様々な教育活動をとおし、社会の形成者として必要な資質を備える人材の育成を進めて参ります。

今後とも本校の教育活動に御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

生徒会役員選挙·立会演説会(9/26)

生徒会役員選挙及び立会演説会が行われました。候補者一人一人が立候補した理由や意気込み、公約を自分の言葉で話していました。立会演説会の後、投票が行われました。投票は練馬区選挙管理委員会の協力を得て、実際の投票で使用する投票箱を使用しました。国政選挙や地方選挙では、国民は 18 歳から選挙権を持つようになりました。最近の選挙では、若者の投票率も上がってきています。義務教育期間中から世の中に興味・関心を持ち、自分たちの国や自治体の将来を託すべき人を自分たちで選ぶという自治の精神を高めていってほしいと願っています。





合唱コンクール(10/10)

今年度は練馬文化センター大ホールで実施しました。審査員の塚田誠先生は、永年練馬区の音楽教師として、音楽教育の発展にご尽力をいただいた先生です。今年も特別審査員をお願いいたしました。塚田先生の講評のなかで、「お行儀が良い」「文化的水準が高い」と褒めていただきました。関中学校では、これを生徒の強みとして捉え、更なる向上を目指してまいります。

合唱コンクールは当日のステージ発表まで、自由曲や指揮者・伴奏者、パートリーダーなどを決定したり、学級によっては学級での目標を決めたり、様々な活動がありました。これらの活動をとおし、生徒の成長を感じることができました。ご参観いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。アンケートを実施していますので、御協力お願い申し上げます。来年度も練馬文化センターでの実施となります。





PTA からお願い

10月10日に会長以下本校 PTA 役員より、来年度に向けた PTA 活動に向け、sigfy によるアンケートのお願いをいたしました。お忙しいところ恐縮ですが、よりよい PTA 活動のため御協力をお願いいたします。